



ホテル ルートイン鹿嶋

施工地／茨城県鹿嶋市長柄2275番1
竣工年月／平成29年3月
敷地面積／3,483.15m²
延床面積／4,441.77m²
構造／鉄骨造7階建
客室総数／186室
無料駐車場／144台
ルートインホテルズ277施設目
(茨城県内8施設目)

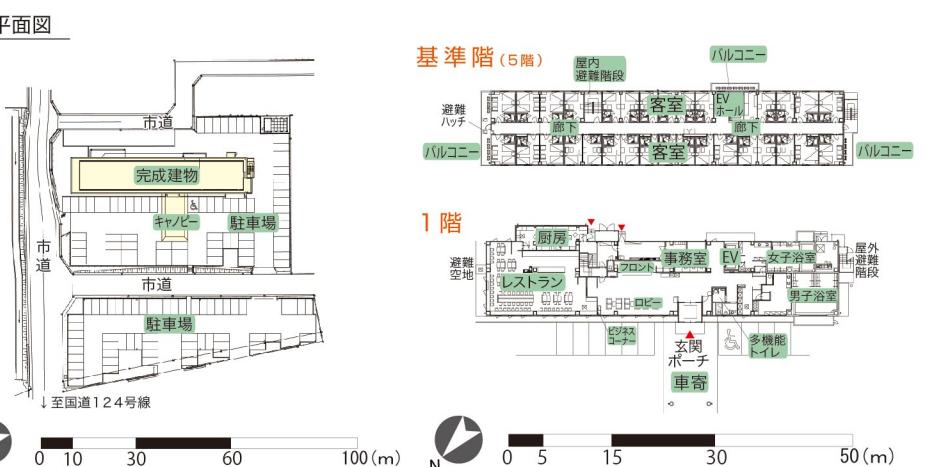
東京2020のさらにその先の街に

この度「ホテルルートイン鹿嶋」が新たに開業した茨城県鹿嶋市は古くから鹿島神宮の信仰で賑わい、今多くの人々が参詣に訪れます。またルートインホテルズ様がトップパートナーであるサッカーJリーグで鹿島アントラーズのホームタウンとしても知られ、2017年7月には東京2020オリンピック・パラリンピックのサッカー競技会場としてカシマサッカースタジアムが追加決定されるなど、観光、ビジネスに交流人口が今後とも増加することが期待されます。

本施設は鹿島臨海工業地帯に近い立地で、国の重要港湾に指定されている鹿島港と東関東自動車道を結ぶ主要幹線道路の国道124号線に面しております。その地域性から車を利用したビジネスユースが主たる利用形態となるため、駐車場配置は144台分のスペースを設けて利便性を確保する配置計画といたしました。

鉄骨造7階建を建設するにあたり、かつては大きな内海が広がっていた鹿嶋市周辺の複雑な地盤状況を考慮し、杭基礎は支持力が大きい中堀工法を採用しております。

配置図・平面図



心地よくつろぎの空間

本施設は1階のレストランは宿泊者無料のバイキング朝食が提供され、夜はルートインオリジナルメニューなどの夕食が楽しめる飲食施設となります。ビジネスユースのお客様にはビジネスコーナーにパソコンをご用意し、スポーツ合宿など長期滞在のお客様には利便性を高めてコインランドリーも設置しております。旅の疲れをいやす浴場は水あたりが良いラジウム人工温泉の男女大浴場を備えておくつろぎいただけます。広いロビーおよびレストランの天井は、和風モダンを意識した格子柄の模様を取り入れ、格式と落着きがある空間をデザインいたしました。

2階から7階は客室階として、シングル121室、ツイン58室、ダブル6室、バリアフリー1室で構成されております。館内はヒートポンプを利用した温水発生器の設置、LED照明の全面的導入で、充実したくつろぎの時間をさらに快適にいたします。

お客様に配慮した平面計画

充実した設備の館内において機能を充分に活かすためには動線も重要な要素です。本施設は明確な動線計画をし、一目で施設構成がわかる平面計画を行いました。お客様動線と従業員動線とが交錯しないように、コンパクトな裏動線計画で効率的に業務が行えるように配慮いたしました。



お客様を温かくお迎えするフロント



セルフカフェを利用できる
広くくつろげるロビー



ゆとりの広さで心落ち着く客室
(写真はツインルーム)



メニューが人気の
レストラン「和み」



無料バイキング朝食と夕食では
オリジナルメニューも提供される大好評のレストラン



お客様に好評の
「旅人の湯」



一日の疲れをいやす
ラジウム人工温泉大浴場